

七友会だより

学部創設二十周年を迎えて



七友会会長

佐原 和典

会員の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

今年には人文社会科学部が創設されて二十周年にあたります。十月十七日には学部主催で福井大学長児嶋眞平氏による「二十一世紀に向けての大学の新構想」と題した記念講演、また、夕方からは盛岡グランドホテルにて祝賀会が開催されました。

私たち一期生が時期はずれの六月に入學してから、もう二十年も経ったかと思うと不思議な思いがします。全国各地から集まった仲間たちには受験浪人の経験者も多く、なかには理工系や医学部を目指していた者もいました。入試が五月にずれ

たことで「国立三期校」などと言われ、また「人文社会科学部」という聞き慣れない名前に、入学した私たち自身も、入学を許した親も不安だったのではなかったでしょうか。

開学の理念は最先端を目指しながら、当時はまだ教員も設備も不十分で集中講義も多かったように思います。しかし、足りないものはありながら、学生にも先生にも不思議な熱気がありました。先の見えない道を手探りながら大胆に歩いていた、そんな気がします。クラスや専攻を越えて、先生も先生もよく飲み、よくアソビました。いろんなこと、いろんな人が織り重なって学部の歴史は始まったのです。

校舎も整備され、コースが増設され、念願の大学院ができ、卒業生が社会で活躍しはじめてきました。四年後、二十一世紀へ時代が移るとき、同窓会は二十周年を迎えます。その頃には、私たちが学んだ人文社会科学部がさらに大きな学部に

題字 大畑 莊一氏
平成9年10月31日発行
岩手大 学
人文社会科学部同窓会

第 12 号

変貌しているかもしれません。

同窓会も四年後を目指し、新しいしくみに変えていこうと動き出しています。まずは評議員会を活発なものにしようと、各地区、支部で積極的に会合をもち、支部の代表者としての評議員を選ぶことから始めることになりました。私自身、岩手から九州福岡への急な転居で思うような活動ができなくなりしましたが、関西以西の西日本にいる会員と連絡を取り合い、西日本支部をつくってみたいと思っています。卒業以来ずっと同窓会と関わってきましたが、来年の評議員会以後は新しく選ばれる会長や理事の方に今後の運営をお願いし、一会員として陰から協力したいと思います。私にとっても、一つの区切りとなる二十年になりそうです。

目次

学部創設二十周年を迎えて	1
評議員会報告	2
平成八年度決算書	3
平成九年度予算書	4
住所不明会員名簿	5
学部創設二十周年記念	6
大同窓会 in 東京ベイヒルトン	6
親睦会 in 盛岡	6
あとがき	6

評議員会報告

会長

佐原和典

平成九年度の七友会評議員会は六月十四日(土)盛岡市上田公民館会議室で出席者十名で開催されました。私が四月より九州へ転居したために準備不足で様々な不手際がありました。活発な討議がなされ、以下のような事業計画、予算が決まりました。

議論のほとんどは、評議員や理事の選出方法などのように変えるか、同窓会活動への関心をいかに取り戻すかということでした。特に会の重要な決定機関である評議員会への出席者が少ないことは、今後会則の変更や資産の運用等にも問題が生じてくるのではないかと心配されます。その解決策の一つとして、多くの会員の意見を聞く必要があるという結論に達し、四年後の同窓会二十周年を目標に、各支部、地区ごとに会員の意見をまとめていく活動をするようになりました。

手始めとして学部創設二十周年にあたる今年、東京で記念パーティを開き、特に関東地区の会員の意見を聞くことにしました。会場には東京ベイヒルトンを選び、子供連れでも足を運べて、また、気軽に参加できるように会費も無料になるよう

な予算措置もとりました。盛岡での交流会も前年同様に計画していますが、こちらは在校生との交流を中心に行いたいと考えています。多くの会員の参加をお願いいたします。

なお、来年の評議員会はもっと参加者を増やしじっくり話し合えるように一泊で開いてはどうかという意見も出て、検討することになりました。

平成八年度事業報告

平成八年度は、評議員会での決定に沿い、会報「七友会だより」を発行して同窓会の活動を会員に知らせるとともに、東京、盛岡での「在校生との交流会」を開催しました。参加した在校生には好評でしたが、参加者が前年に比べ少なく、また就職環境の変化にともない開催方法を検討する必要があると思われます。なお、盛岡での交流会は全額同窓会の負担として実施しました。

交流会開催状況

*東京(平成八年十一月二十三日)

会員二十数名、在校生三名、教員二名

*盛岡(平成九年一月二十五日)

会員十八名、在校生十一名、教員七名

平成九年度事業計画

平成九年度は、前年度に引き続き会報を発行しながら住所不明会員の解明にもつとめていきたいと考えます。在校生との交流会については、就職活動の状況の変化にともない、開催日程や内容等を再検討し、有意義なものにしていきたいと思えます。また、今年には学部創設二十周年にもあたり、学部で実施される記念行事等には会として協力するとともに、東京で記念パーティを開き、同窓会活動への関心を高めたいと考えます。

役員人事について

かねてより金澤幸範氏から一身上の都合により副会長を辞退したい旨の申し出があり、評議員会で検討後これを受理することになりました。これにともない、残り期間(平成十年度評議員会開催日まで)の副会長として八重樫映氏(二期生)を選出し、お願いすることになりました。また会長が九州に転居したため、当分の間、八重樫、落安両氏を中心に会を運営していくことになりました。

平成8年度 岩手大学人文社会科学部同窓会会計決算書

1. 一般会計

1997.6.14 承認

(歳入)

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
前年度繰越金	3,012,283	3,012,283	0	普通預金, 定期預金
会費	4,700,000	4,740,000	400,000	237名×20,000円
雑収入	18,347	10,672	△7,675	利息
計	7,730,630	7,762,955	32,325	

(歳出)

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1. 事業費	4,600,000	1,763,767	2,836,233	
1) 会報発行関係費	1,600,000	327,790	1,272,210	
ア. 会報等印刷費	800,000	160,680	639,320	
イ. 会報等郵送費	800,000	167,110	632,890	
2) 会員活動援助費	1,600,000	494,865	1,105,135	453,150 (東京・盛岡交流会), 卒業証書入筒代
3) 卒業記念品贈呈費	100,000	100,000	0	
4) 支部援助費	500,000	200,721	299,279	
5) 文化事業補助	250,000	100,000	150,000	
6) 寄付金	500,000	500,000	0	
7) 諸費	50,000	40,391	9,609	
2. 会議費	230,000	90,917	139,083	
1) 評議員会会議費	150,000	68,167	81,833	
2) 諸会議費	80,000	22,750	57,250	
3. 事務費	400,000	158,650	241,350	
4. 特別積立金	1,000,000	1,000,000	0	積立
5. 雑費	100,000	100,000	0	事務謝金
6. 学部設立20周年記念積立	500,000	500,000	0	積立
7. 同窓会設立20周年記念積立	500,000	500,000	0	積立
8. 予備費	400,630	0	400,630	
計	7,730,630	4,113,334	3,617,296	

平成8年度収支決算

歳入合計	7,762,955円
歳出合計	4,113,334円
差引残高(翌年度繰越)	3,649,621円 (2,758,722+ 890,899)

2. 特別会計

(歳入)

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1. 前年度末積立金	26,279,691	26,279,691	0	
2. 新規積立金	2,100,000	2,100,000	0	学20周50万, 同20周50万, 卒業10万, 特別100万
3. 利息	418,502	113,631	△304,871	
計	28,798,193	28,493,322	△304,871	

(歳出)

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1. 積立金	28,798,193	28,493,322	△304,871	
1) 特別積立金	19,961,871	19,723,673	△238,198	
2) 卒業記念積立金	1,938,316	1,919,974	△18,342	
3) 学部設立20周年記念積立	3,808,865	3,782,164	△26,701	
4) 同窓会設立20周年記念積立	3,089,141	3,067,511	△21,630	
計	28,798,193	28,493,322	△304,871	

監査報告

残高証明書及び領収書等証拠書類にもとづいて、会計監査を実施したところ、会計決算報告書のとおりでした。

平成9年6月14日 会計監査 藤村紀行 ㊟

平成9年度 岩手大学人文社会科学部同窓会会計予算書

1. 一般会計

(歳入)

(単位 円)

科 目	予 算 額	備 考
前 年 度 繰 越 金	3,649,621	
会 費	4,440,000	222名×20,000円
雑 収 入	10,672	利 息
計	8,100,293	

(歳出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	平成8年度予算額	備 考
1. 事 業 費	5,300,000	4,600,000	
1) 会 報 発 行 関 係 費	1,600,000	1,600,000	
ア. 会 報 等 印 刷 費	800,000	800,000	
イ. 会 報 等 郵 送 費	800,000	800,000	
2) 会 員 活 動 援 助 費	2,000,000	1,600,000	卒業証書入筒代, 交流会等
3) 卒 業 記 念 品 贈 呈 費	100,000	100,000	積 立
4) 支 部 援 助 費	800,000	500,000	関東支部等
5) 文 化 事 業 補 助 費	250,000	250,000	学部交流関係他
6) 寄 付 金	500,000	500,000	人文社会科学部へ寄附
7) 諸 費	50,000	50,000	慶弔費
2. 会 議 費	240,000	230,000	
1) 評 議 員 会 議 費	160,000	150,000	
2) 諸 会 議 費	80,000	80,000	
3. 事 務 費	400,000	400,000	事務用品, テーパスパソコン管理, インターネットホームページ資金他
4. 特 別 積 立 金	800,000	1,000,000	
5. 雑 費	100,000	100,000	事務謝金
6. 学 部 設 立 20 周 年 記 念 積 立 金	500,000	500,000	
7. 同 窓 会 設 立 20 周 年 記 念 積 立 金	500,000	500,000	
8. 予 備 費	260,293	400,630	
計	8,100,293	7,730,630	

2. 特別会計

(歳入)

(単位 円)

科 目	予 算 額	備 考
1. 前 年 度 末 積 立 金	28,493,322	
2. 新 規 積 立 金	1,900,000	卒業記念(10万), 特別積立(80万), 学部20周年(50万), 同窓会20周年(50万)
3. 利 息	113,631	
計	30,506,953	

(歳出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	備 考
1. 積 立 金	30,506,953	
1) 特 別 積 立 金	20,600,842	特別積立 (岩手銀行), 日興証券 (チャンスC号)
2) 卒 業 記 念 積 立 金	2,028,301	
3) 学 部 設 立 20 周 年 記 念 積 立 金	4,298,233	
4) 同 窓 会 設 立 20 周 年 記 念 積 立 金	3,579,577	
計	30,506,953	

学部創設二十周年記念

大同窓会 in 東京ベイヒルトン

十一月二十四日(月) 会費無料!

今年には人文社会科学部部の創設二十周年にあたり、盛岡では学部主催の記念行事が盛大に開催され、同窓会からも参加しました。同窓会としても関東支部が中心となり、記念パーティを開くことになりました。十一月下旬の三連休最終日、会場は子供がいる方も参加しやすいようにデイズニールンドのオフィシャルホテルの一つ東京ベイヒルトンを考えました。会費も無料にし、全額同窓会で負担する予定です。その分、多くの方に参加していただき、同窓会についての意見もたくさん寄せてほしいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。

記

日時 平成九年十一月二十四日(月) 振替休日
十四時より十六時頃まで

会場 東京ベイヒルトン

TEL 〇四七三(五五) 五〇〇〇

会費 無料

*参加について

当日直接おいでいただいても結構ですが、できるかぎり七友会関東支部または七友会事務局にご連絡ください。

在校生(準会員)、教職員(特別会員)の方も参加できます。事前に参加者をまとめ、事務局にご連絡ください。会費はいただきませんが、参加に必要な旅費等は各自のご負担でお願いします。

*七友会関東支部 連絡先

山口 毅(池袋法務事務所)

TEL 〇三(三九八七) 一一七四

FAX 〇三(三九八七) 一一五七

親睦会 in 盛岡

盛岡での親睦会は昨年度同様に、同窓生と在校生との交流会をかねたものとして計画しています。前回はOB、在校生ともに参加が少なく、交流というには物足りなさを感じました。

一旦、就職して一つの仕事についてしまうと、異業種やちがう分野の人たちと会い、交流する機会はさほど多くはありません。一方で、就職状況は依然きびしく在校生は苦戦を続けていますが、雇用、採用などの社会環境の変化は新しく社会に出る人にとってだけの問題ではありません。この親睦会が定着し、活発化して会員相互に有益な交流と情報交換の場となることを望みます。多くの方々の参加をお待ちしています。

日時 平成十年一月二十四日(土)

十四時より十六時頃まで

会場 南部会館サザンパレス

TEL 〇一九(六五三) 五三三二

会費等の詳しいことは十二月頃に決め、ハガキ等で連絡します。

あ げ き

一年ぶりに会報発行に漕ぎ着けました。今号では住所不明の方の名簿を載せていますので所在をご存じの方はお知らせくださるようお願いいたします。また、この会報の宛先があなたの登録されているお名前と住所です。もしも旧姓のまま、あるいは古い住所のままになっている場合には事務局までご一報ください。ご家族からの連絡でも結構です。(泉澤)

*七友会事務局 連絡先

泉澤真結子(株)MEL東北支社)

〒〇〇 盛岡市盛岡駅前通十一十四

TEL 〇一九(六二二六) 二二九〇

FAX 〇一九(六二二九) 二六六五